

## FC岐阜のホームグロウン制度への取り組み

外国籍選手の所属比率が各国で高まっている中、日本のJリーグでも、各チームがホームタウンで育てた選手をトップチームにて一定数以上登録するホームグロウン制度を2019年からまずはJ1リーグで導入しました。12歳から21才までの期間に、Jクラブのトップチームまたは下部組織に登録された延べ期間が990日(約3年)以上である選手をホームグロウン選手と定義し、運用が始まりました。そして今ではホームグロウン認定を得た選手を、J1クラブで4名以上、J2、J3リーグで1名以上を登録していなければならない、2023シーズン以降にはJ2、J3の各クラブでは2名以上になることが求められています。

さて、FC岐阜では村田透馬選手(22才)は大阪府出身で2018年に興国高校からFC岐阜に加入し、既に5年経過して、FC岐阜のホームグロウン第1号選手としてFWで活躍中です。更に愛知県江南市出身ですが、岐阜市の富田高等学校を卒業しFC岐阜に加入した石坂亮人選手は、FC岐阜アカデミーに中高時代6年間所属し、FC岐阜とプロ契約をした初の選手であり、ホームグロウン第2号選手です。現在は今シーズン途中に北信越フットボールリーグの福井ユナイテッドFCへ期限付き移籍して武者修行中であり、今後ますますの活躍を期待しています。

クラブでは来シーズンに向けて、更に第3号と第4号のホームグロウン選手を先日発表いたしました。山梨市の伊自良中学校、岐阜市の岐阜総合学園高校出身でFC岐阜アカデミーに中高6年間所属し、大垣市にある岐阜協立大学を経て来シーズンから加入する横山智也選手(22才)は、FW、MFなどのポジションで活躍が期待されています。また、羽田一平選手(21才)は岐阜市の長森南中学校出身で3年間の中学時代をFC岐阜アカデミーに所属後、岡山の作陽高校、桐蔭横浜大学を経て来シーズンからの加入が決まり大いに活躍を期待しています。

従って来シーズンからは4名のホームグロウン選手達の活躍も皆様の注目を集めることと思います。FC岐阜では、国内外の優秀な選手達を集めて育てるばかりでなく、着々と県内で育てた若手選手達をトップチームで活躍してもらうように進めています。これによって、県内の若手選手達のモチベーションをあげて、いずれFC岐阜でプロ選手になることを夢見る素晴らしいサッカー選手を増やしていきたいと思っています。同時に我ら郷土の誇りの選手の活躍によって、ファン・サポーターの渦が更に大きくなって行くことを願っています。

Kyogo Furuhashi (古橋亨梧選手)はホームグロウン選手ではありませんが、どのJリーグチームも声を掛けなかった彼を開幕 2か月前にFC岐阜が発掘し、契約し、育てた、今や世界で活躍するプレーヤーです。FC岐阜での1年半は新人ながら開幕から全試合スタメン出場を果たし、初年度で6点、2年目の半年間で11点得点したところで、FC岐阜への感謝の念をしっかりと伝えて、ヴィッセル神戸に移籍しました。そしてJ1リーグで大活躍の後に、スコットランドのセルティックに加入し、今では世界で活躍する日本を代表する選手に成長したのは皆様ご存知の通りです。彼の素晴らしい実力と人柄から岐阜の皆さんは彼を誇りに思っていますし、今もFC岐阜のSNSをチェックし、「いいね！」と発信し続けてくれていることは嬉しい限りです。

これから多くのホームグロウン選手が活躍し、さらには世界で活躍するような選手達が生まれることを期待していますし、選手とファン・サポーターの皆さんがお互いに誇り合えるチームになるよう願っています。



写真：©FC GIFU

村田 透馬 選手  
FW 22歳



写真：©FC GIFU

石坂 亮人 選手  
MF 19歳



写真：©FC GIFU

横山 智也 選手  
FW MF 22歳



写真：©FC GIFU

羽田 一平 選手  
DF 21歳